



懐を深く

会長 只野 裕二

皆様には、ご健勝にて新年をお迎える事と思います。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

七月四日はアメリカの独立記念日。ニューヨークの港には、記念日を祝う洋上式典に参加するため、世界各国から帆船や海軍の艦艇が集まっていた。

その次の日、ちよつとした事故が起きた。イギリスの豪華客船クイーンエリザベス二世号が、ハドソン河の流れに押されて、日本の自衛艦「かしま」の船首に接触してしまった。クイーンエリザベス二世号の船長は、船を着岸させると直ぐに機関長と航海士を「かしま」に向かわせ、お詫びの言葉を述べた。

すると、「かしま」の船長はこう答えた。「幸いに損傷も軽く、特に気にしておりません。それよりも、女王陛下にキスして貰って、光栄に思っております」この粹な答えは、外国の船の間で評判となり、タイムズやイブニングポストでも紹介された。

昔、アフリカの王族がイギリスの宮殿に晩餐会で招待された。しかし、アフリカ未開地の王族なので、テーブルマナーは一切解らない。テーブルの上のフィンガーボールを見て、手を洗う水とは解らず、アフリカの王様は飲み水だと思つて飲んだ。格式を重んじるイギリス王室の晩餐会だから、周りの人たちは、それを見て驚いた。そして、女王が間違いを指摘し、マナーを教えるものだと思つていた。

しかし、女王はそうはしなかった。女王は、アフリカの王様と一緒にフィンガーボールの水を飲んだのである。

それは、アフリカの王様に恥をかかせないようにとの女王の配慮だった。

この話は、イギリス中に伝えられ、イギリスマナーのあるべき姿とされたのである。

どちらの話も、相手を傷つけないようにする優しい思いやりからくるもので、この位、ユツタリと、懐が深くなりたいたいものです。



新年のご挨拶

署長 加藤 史禎

令和七年の年頭に当たり、公益社団法人相双法人会の会員の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

只野会長はじめ会員の皆様には、平素から税務行政に対しまして、深い御理解と多大な御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴会におかれましては、地域における税のオピニオンリーダーとして、各種説明会や研修活動のほか租税教室への講師派遣や税に関する絵はがきコンクールを開催し、そうま市民まつりでは、国税のイータ君を交えていただき税の広報活動を行うなど地域に密着した様々な社会貢献を展開されておりますことに、感謝申し上げます。

税務署では、e-Tax及びキャッシュレス納付の利用拡大並びに事業者のデジタル化促進に取り組んでおります。貴会では、昨年十二月、デジタルインボイスをいち早く導入した会員企業を講師として講演会を開催されました。このような取組は、実際にデジタル

化に取り組む企業の声を直接聞くことができる貴重な機会であり、デジタル社会の形成に結びつく有効な取組であると考えています。

さて、間もなく確定申告の時期を迎えます。相馬税務署では、二月十七日から相馬市振興ビルに確定申告書作成会場を設置いたします。所得税等の確定申告につきましては、事前予約制により、納税者ご自身のスマホを使用して申告書を作成する操作指導を行わせていただくこととしております。ご来場の際は、スマホ、マイナンバーカード及び申告に必要な書類関係を忘れずにご持参いただくようお願いいたします。

結びになりますが、相双法人会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

